

豪州の財政収支は黒字化に向け計画上回る改善示す

- 豪州政府の2018年度の基礎的財政収支の実績は、財政均衡目前の-7億豪ドル(GDP比-0.03%)へ赤字が縮小。
- 鉄鉱石価格上昇による企業収益の改善や、予想を上回る雇用増加などが計画を上回る財政収支の改善に寄与。
- 政府が計画する2019年度の財政黒字化の実現性高まる。2019年度以降の財政見通しは上方修正される可能性も。
- 市場では豪州準備銀行(RBA)への追加利下げ要求が増す中、今後は追加の財政緩和策の行方にも注目集まる。

18年度財政収支の実績は計画上回る改善示す

豪州政府が9月19日に公表した2018年度(2018年7月～2019年6月)の基礎的財政収支の実績は、財政均衡目前の-7億豪ドル(GDP比-0.03%)まで財政赤字が縮小しました。これは政府が2019年4月に公表した予算案計画と比べて35億豪ドルの赤字改善となったほか、2018年5月公表の当初予算案に対しても138億豪ドルの大幅な改善となりました(図1)。

豪州政府によれば、財政収支が計画を大きく上回る改善を示した要因として、①鉄鉱石価格上昇などによる企業収益の改善(法人税収の増加)や、②予想を上回る雇用増に伴う個人所得税収の増加などが挙げられています。

19年度の財政黒字化の実現性が一段と高まる

2018年度の財政収支が財政均衡目前まで改善したことは、豪州政府が計画する「2019年度の財政黒字化」の実現性が一段と高まったことを示しています。

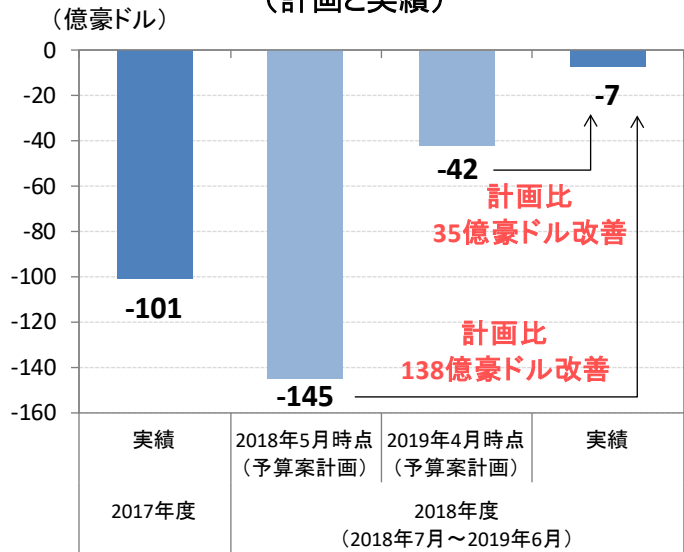
2019年4月公表の予算案では、2019年度の基礎的財政収支は71億豪ドル(GDP比0.4%)の黒字となると計画されており、財政黒字の規模は2021年度には178億豪ドル(GDP比0.8%)へ拡大すると見込まれています(図2)。

2018年度までの財政収支の実績が計画を上回る改善傾向にあることから、今年12月公表の半期財政見通しや来年5月公表の予算案では、2019年度以降の政府の財政見通しが上方修正される可能性も高いと考えられます。

今後は追加の財政緩和策の行方にも注目集まる

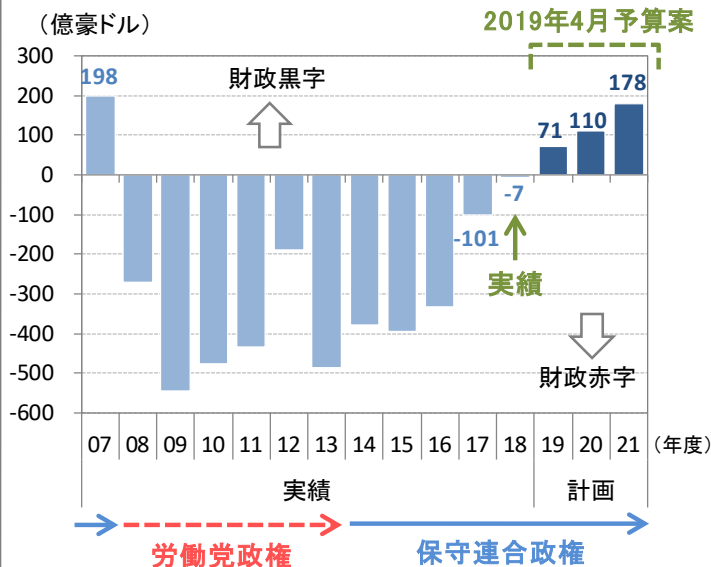
足元の豪州金融市場では、雇用環境の停滞から豪州準備銀行(RBA)への追加利下げ要求が増しているものの、豪州政府の財政政策の余裕度が増していることで、今後は追加の財政緩和策の行方にも注目が集まりそうです。

図1: 2018年度の豪州政府の基礎的財政収支 (計画と実績)



(出所) 豪財務省 (注) 基礎的財政収支は政府系ファンドの収支を除いた財政収支(一般政府ベース)。年度は各年7月～翌年6月。

図2: 豪州政府の基礎的財政収支の実績と計画



(出所) 豪財務省 (注) 基礎的財政収支は政府系ファンドの収支を除いた財政収支(一般政府ベース)。年度は各年7月～翌年6月。

●当資料は、説明資料としてレグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている見解、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。